

大栄環境 金子文雄社長に聞く(上)

大栄環境グループは「事業の持続性を高め、環境創造企業として進化する」の経営ビジョンのもと、16年度から20年度までの第7次経営計画に取り組んでいる。その3年目に当たる18年度の経営方針は「ガバナンスを強化し、成長する」を掲げた。売上1000億円、経常利益78億円の目標達成に向け、さまざまな事業に取り組んでいく。金子文雄社長に、昨年度の成果、今年度の事業展開や課題、今後の展望などについて聞いた。

(黒岩修)

17年度の成果は。

17年度は『革新的挑戦』を経営方針として、グループ全体で売り上げ574億円、経常利益61億円の目標を掲げて取り組んできたが、予想以上に順調に推移しており、売上高は600億円、経常利益は86億円を超える見込みだ。この5年間で四百数十億円の設備投資を行ってきたが、そうした施設の整備により取扱い量が拡大し顧客の信頼度が増すなどの効果を生み出したのと合わせて

減価償却が進んだこともあって、それを逃すことなく成長軌道に乗せていくことで引き続き注力していく考えだ。

今年度の経営方針は。

今年度の経営方針は『100年企業の実現』を軸として、成長する『ガバナンスを強化し、成長する』を掲げた。非常に好調だから『エネルギーの創出』『事業スキームの発展』『ブランド価値の創出』の3つに取り組み、売上620億円、経常利益78億円の達成を目指している。――100年企業の実現に向けて取り組みは。

具体的な施策としては、『100年企業の実現』を軸として、成長する『ガバナンスを強化し、成長する』を掲げた。非常に好調だから『エネルギーの創出』『事業スキームの発展』『ブランド価値の創出』の3つに取り組み、売上620億円、経常利益78億円の達成を目指している。――100年企業の実現に向けて取り組みは。

具体的な施策としては、『100年企業の実現』を軸として、成長する『ガバナンスを強化し、成長する』を掲げた。非常に好調だから『エネルギーの創出』『事業スキームの発展』『ブランド価値の創出』の3つに取り組み、売上620億円、経常利益78億円の達成を目指している。――100年企業の実現に向けて取り組みは。

具体的な施策としては、『100年企業の実現』を軸として、成長する『ガバナンスを強化し、成長する』を掲げた。非常に好調だから『エネルギーの創出』『事業スキームの発展』『ブランド価値の創出』の3つに取り組み、売上620億円、経常利益78億円の達成を目指している。――100年企業の実現に向けて取り組みは。



「内部監査体制を強化し、コンプライアンスの社内規範等がますます守られていくことを確認する」と、足元を固めて組織体制の強化を進めていく。昨年度から『働き方改革』を重要課題に掲げて取り組んできたが、これを引き続き推進していく。具体的には、まず年間対人口数を

18年度経営方針は「ガバナンスを強化し、成長する」 足元を固め100年企業の実現目指す

「日」を上げて1000とする。大手企業と比べると少ないうえ、一気引き上げるのは難しい。業種でもあるので段階的に改善していきたいと思っている。また、各種規程の見直しや昇格ルール、就業ルールを改定することで、若い世代などが働きやすいような魅力的な職場環境となるような改善を進めている。また、持続可能な事業を展開していくには、体制整備が必要不可欠だ。

――業界では人材不足が課題となっているが、人材確保に向けた取り組みは。

「3月現在でグループ従業員数は1600人。専属協力会社従業員数を加えると500人となっている。20年には30人規模とする目標を見込んでいく。今後は多様な人材の確保、勤務体系、価値観に対応できる組織を構築するためのダイバーシティの取り組みを推進していく。そのために関連会社の組織を見直して新たに人材派遣・紹介などの専門会社である『タリエント』を設立している。今年度から本格的に事業展開を開始する計画となっている。」

――処分場などの施設整備が進んだが。

「処分場については20年度末の残容量も600万立方メートルの確保に向けた処分場開発を進めている。埋め立て処分場は必要不可欠な施設ではあるが、世の中の流れとして埋め立て処分場を減らして資源循環を図っていく方向になっているので、われわれとしても21年度以降は埋め立て処分場を大幅に削減していく方向で、昨年には埋め立て負荷低減を実現するための第1号施設として和歌山リサイクルセンターを稼働させた。埋め立て処分量を減らしながら80年度までの埋め立て廃棄量を確保する計画を立てている。これが100年企業の実現にもつながる。」

――100年企業の実現に向けて取り組みは。

「100年企業の実現に向けて取り組みは、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を

具体的には、まず年間対人口数を